

# えびの

# 市議会 だより

第135号

令和5年1月20日

Ebino City Assembly Report 2023/1/20 Vol.135

あけまして  
おめでとうございます



3月定例会は  
2月27日(月)  
開会予定

## 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては、晴れやかな新春を健やかに  
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より市  
議会への深いご理解と議会活動に対しまして格別のご支援・  
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症  
の拡大が続く中、人の動き等の制限が緩和されましたが、  
まだまだ社会経済の回復にはほど遠いように感じさせられる  
一年であったと思います。また、世界的な平和への不安、国内  
では、歴史的な円安、物価高騰、それに伴う値上げラッシュ  
が私たちの生活を直撃し、暗いニュースが続く一年であった  
ように感じておりますが、一方、日本のスポーツ選手が活躍  
した一年でもあり、今後に向けて希望の持てる明るい出来事  
もありました。

このような社会情勢の中で、議会は二元代表制の下で、市  
長や行政委員会との立場の違いを踏まえ、常に緊張ある関係  
を保ちながら、市民の皆さまの福祉の向上、市政の発展に寄  
与していかねばなりません。議会といたしましては、「え  
びの市議会基本条例」に掲げる理念の下、行政への監視及び

評価をはじめ独自の政策立案など、議会機能の一層の充実強  
化に努めて、さまざまな市政課題の解決に向け、市民の皆さ  
まの声を十分お聴きし、しっかりとした議論を重ねるとも  
に、開かれた議会を目指し、市民の皆さまの期待に応えるべ  
く、誠心誠意尽くしてまいる所存であります。

また、議会におきましては、議員間のハラスメントの防止、  
議員の地位を利用した市長等に対するハラスメントの防止、  
根絶、信頼される議会の実現を目的として議員提案による議  
会ハラスメント根絶条例を制定いたしました。すべての議員  
が、市民の負託を受けた代表者であることを自覚し、その負  
託に応えられるよう努めてまいります。

結びに、今年の干支はうさぎ、小さな体で大きく跳ねること  
から飛躍や発展を象徴され、四緑木星卯年・金運大飛躍を願  
う年のようであります。是非、本年度は平穏で幸多き年であ  
りますようお願いながら新春に臨み、市民の皆さまのご支援・  
ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が市民の皆様にと  
りまして幸せで実り多く、また大いなる飛躍の年となりま  
すことをご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

えびの市議会議長 竹 中 雪 宏





令和4年

10月臨時会

議案総括



令和4年10月臨時会が10月14日の1日間開催され、議案1件を審議しました。詳しくは以下のとおりです。

#### 議案第58号 令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第6号)について

令和4年度えびの市一般会計予算の補正につきまして、歳出歳入それぞれ2億430万4千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ151億7,391万円となります。

今回の補正のうち歳出は、電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(令和4年度分の住民税均等割が非課税の世帯及び家計急変世帯)に対し、1世帯当たり5万円を給付するという価格高騰緊急支援事業に係る経費の計上です。歳入は、国庫支出金の追加です。

本会議では、採決の結果、全会一致にて原案のとおり決まりました。



令和4年

12月定例会

議案総括



令和4年12月定例会が11月29日から12月13日までの15日間開催し、報告2件、議案25件、陳情1件を審議しました。主な議案について報告します。

#### 議案第60号 公の施設の指定管理者の指定について

養護老人ホーム真幸園の施設の管理者について、公募選定の結果、社会福祉法人スマイリング・パークが候補者に決定したことに伴い議会の議決を求めるものです。産業厚生常任委員会にて審査の結果、可決すべきものと決まりました。本会議では、採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決されました。詳しくは、6ページをご覧ください。

#### 議案第61号 公の施設の指定管理者の指定について

えびの市交流物産館(道の駅えびの)の施設の管理者について、公募選定の結果、えびの市農業協同組合が候補者に決定したことに伴い議会の議決を求めるものです。産業厚生常任委員会にて審査の結果、可決すべきものと決まりました。本会議では、採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決されました。詳しくは、6ページをご覧ください。

#### 議案第64号 定住自立圏形成協定の一部変更について

この議案は、予算等審査特別委員会に付託され審査が行われました。委員会にて反対討論があり、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決まりました。本会議場においても反対討論があり、採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決されました。詳しくは、8ページをご覧ください。

## 議案第70号 令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について

この議案は、予算等審査特別委員会に付託され審査が行われました。委員会にて簡易採決に異議があり、挙手による採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決まりました。本会議場では、議案第60号から63号までの4議案の予算計上と飯野高校男子寮に対する予算計上に対しての反対討論がありました。採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決されました。詳しくは、7～8ページをご覧ください。

## 議案第75号 令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第8号)について

この議案は、追加議案として上程され、本会議場にて審議が行われました。採決の結果、全会一致で原案のとおり可決されました。概要は以下のとおりです。

今回の補正のうち歳出は、国が補正予算にて決定した出産・子育て応援交付事業費の計上、及び給与改定に伴う人件費、繰出金を増額するものです。歳入は、今回の補正に係る財源として国、県支出金の計上及び財政調整基金繰入金を増額するものです。

出産・子育て応援交付金事業とは、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」にて、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実させ、経済的支援を一体とするものです。令和4年4月以降既に出産された方、妊娠届出をされた方への経済的支援が盛り込まれました。

### ●経済的支援の概要

▽妊娠届出後→妊婦一人当たり5万円の現金(①出産応援ギフト)を妊婦に支給

▽出生届出後→新生児一人当たり5万円の現金(②子育て応援ギフト)を養育する方に支給

※ 所得制限は設けない。

※ 令和5年4月以降に妊娠届出、出生届出をされる方へは、令和5年度当初予算に計上予定。詳しくは市のHPをご覧ください。

## ◆お知らせ◆

令和4年12月定例会において、西原政文議員より議員辞職願が提出され、議員辞職が許可されました。このことにより、現議員数が13名から12名となりました。

また、これを受け議会運営委員会の委員構成が

委員長	西原 義文
副委員長	小宮 寧子
委員	森 賢治
	阿部 哲己
	松窪 ミツエ
	栗下 政雄

となりました。また総務教育常任委員会の委員が7名から6名、議会広報特別委員会の委員が6名から5名となりました。



# 令和4年12月定例会 総務教育 常任委員会 報告

12月定例会において、付託された議案7件の審査を行いました。  
審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決まりました。  
以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

## ①議案第66号 えびの市職員の定年等に関する条例の一部改正について

**Q** 今回の定年延長の条例改正に伴い、若い世代の職員の管理職昇進等に影響を及ぼし、滞らないように努めていただきたい。また今後、仕事や業務内容が大きく変わると思うので、対象となる職員には新たな意識を持って職務に励んでいただきたい。そのためにも、職員研修等も工夫することが大切だと感じるが、対応は。

**A** 定年延長に伴う組織構成の中で、若い職員等の登用等につ

いては、そのような趣旨も踏まえて、今回、役職定年制を導入し、60歳を基本として、管理職、管理監督職から降任にするという措置を講じることになっている。また、60歳を超えて残る職員は貴重な経験と知識を有しているので、そのような面の活用も踏まえていきたい。職員研修も組織の変革を加味した研修を計画し、くれぐれも市民サービスが低下しないよう措置を講じていきたい。

## ②議案第73号 令和4年度えびの市水道事業会計予算の補正(第2号)について

**Q** 債務負担行為で柿木原浄水場管理業務委託が計上されているが、現在の委託業者名と具体的な管理業務内容は。

**A** 令和4年度の委託業者は、日通セキュリティシステム株式会社。主に浄水場内の機械の運転業務と施設の保守点検、施設の草刈等環境整備と水の管理、水質管理等を委託している。契約については業務契約で、簡易的な業務について委託する。操作については水道技術管理者である係長の指示で行っている。

## ③議案第74号 令和4年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について

**Q** 債務負担行為3件の委託は入札等を予定しているのか。

**A** 市立病院警備業務委託と市立病院清掃業務委託は入札、西諸医療圏医療需要等調査業務委託は公開型のプロポーザルを予定している。

**Q** 西諸医療圏医療需要等調査業務委託について、国のガイドラインに沿って調査する目的は。

**A** 公立病院の経営強化プランに沿ったものにするため、経営強化プランの一番の目的は、各公立病院の役割機能を明確化、最適化して連携を強化する必要性があること。西諸医療圏の西諸医療構想調整会議があり、その会議で経営強化プランの承認をいただく必要がある。この経営強化プランにおいて、医療圏の中で公立病院がそれぞれの機能を見直して最適化し、役割を分担して連携していくことが、国のガイドラインの大きな趣旨である。その趣旨に沿った経営強化プランとなるよう、どのようなお互いの病院で経営強化

プランを作っていけばいいかを西諸医療圏医療需要等調査業務委託にて西諸圏内の医療需要の調査をして基礎資料とするのが大きな目的である。公立病院については、近年まで経営の悪い病院は、再編や統合、縮小を考えるようにと示されていたが、新型コロナウイルスの対応で、公立病院の役割、立ち位置が見直され、今後は機能分化と連携強化を手段に役割機能を明確化し、最適化して連携を強化するようにとなった。経営強化プランにて公立病院の役割をしっかりと示していきたい。

**Q** 医療需要等調査の概略は。

**A** ガイドラインに沿った項目に対応する調査項目となっている。具体的な調査内容の主なものは、外部環境の調査としては医療需要等調査で、患者の流入室の状況、入院患者、患者数の推計、診療科別の医師の充足状況調査等である。内部環境調査としては、各病院の経営分析、経営強化に関する提案、病院間連携の提案等を実現可能な連携策である。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

# 令和4年12月定例会 産業厚生 常任委員会 報告

12月定例会において、付託された議案6件・陳情1件の審査を行いました。

審査の結果、議案6件は全会一致で原案のとおり決まりました。陳情第4号については、継続審査と決まりました。

以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

## ①議案第60号 公の施設の指定管理者の指定について

指定管理するえびの市養護老人ホーム真幸園が、令和5年3月31日で指定管理期間が終了となるため、公募により選定された社会福祉法人スマイリング・パークを指定管理者とするものです。

**Q** 1回目の募集が8月26日から9月26日の1か月間をもって公募したが応募がなかったため庁議をして、9月28日から10月28日まで

第2回目の公募をしたとあるが、1回目の締切日から次の公募まで2日しかない。もう少し模索期間をおく考えはなかったか。

**A** 老人ホームに入所されている方々の今後の処遇や引継ぎを12月定例会に提案しないと、期間的にスケジュールが非常に厳しくなるため早急に協議し、2日後に2次募集をかけた。

## ②議案第61号 公の施設の指定管理者の指定について

指定管理するえびの市交流物産館が令和5年3月31日で指定管理期間が終了となるため、公募により選定されたえびの市農業協同組合を指定管理者とするものです。

**Q** 収支計画書の営業利益が1,100万円程度であるので連動納付金を廃止してはどうか。

**A** 道の駅は収益が見込める施設である。次年度の協定協議の中で黒字が出た場合の納付金を30%以上に決めた。

## ③議案第62号 公の施設の指定管理者について

指定管理するえびの市アウトドア

ビジターセンターが令和5年3月31日で指定管理期間が終了となるため、公募により選定された株式会社BRIDGE the gapを指定管理者とするものです。

**Q** 指定管理料を年間1,300万円ほど払っているが、効果が見えてこない。令和3年度の歳出を見ると、コロナ禍でイベントが出来なかったのに人件費が上がっている。どのような仕事をされているか。

**A** イベントが少ない状況であったが、稼ぐ観光を実現するために、観光の関係団体との連携力を入れ組織づくりに注力されている。定期的にミーティングを開きイベントの企画やコーディネートを実施全体通して行っている。

## ④議案第63号 公の施設の指定管理者の指定について

指定管理する白鳥温泉上湯が改修工事が完了したため、公募により選定された一般社団法人こころざしふるさと再生委員会を指定管理者とするものです。

**Q** 各年度によって売上、収益に違いはあるが、収益状況はど

のようになっていくか。

**A** 一定程度の収益を生む施設であるが、新燃岳の噴火の時に収益がかなり落ち込み経営が赤字となる状況もあった。現在の指定管理者が新たに経営を引き継いでからは非常にサービスやおもてなしが充実しており、コロナ禍や硫黄山の噴火等による影響はあるが、今年度は客足が戻ってきている状況で経営的には成り立っている。

## ⑤議案第71号 令和4年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について

**Q** 国保では、当初、出産一時金の見込みは1年間で13名なのか。

**A** 国保では、令和2年度が13件、令和3年度が11件の出産一時金の実績があった。全体的なえびの市の出生については、令和3年度の1年間で77人、令和2年度は84人となっている。

産業厚生常任委員会

委員長 吉留 優二



# 令和4年12月定例会 予算等審査 特別委員会 報告

12月定例会において、付託された議案2件について審査を行いました。

審査の結果、議案第64号は反対討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり決まりました。議案第70号は簡易採決に異議があり、挙手による採決の結果、賛成多数で原案のとおり決まりました。

以下、議案の審査内容を抜粋して報告します。

## ①議案第70号 令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について

### 【総務費】

#### 移住・定住推進事業費

**Q** 飯野高校生徒寮家具類購入費308万9千円の内訳は、

**A** 1, 431万3千円  
カーテン、クローゼット、ベッド、木製デスク等を設置する。

**Q** 家具類購入について、これまでの全国枠生徒との平等性は。

**A** 民間宿泊施設あるいは国際交流センターは受け入れ側が準備をしており、平等性は保たれている。

**Q** 新しく入る生徒や、現在、寮に入っている生徒への下宿先の案内はどのような仕組みでされているのか。

**A** 生徒、保護者の選択になるかと考えており、民間宿泊施設も含めて、紹介はする。

**Q** 新たに定住促進住宅への入居を促進するにあたり、現在、受け入れをしている事業主との協議や意見交換会はどのようにされているのか。

**A** 受け入れをしている民間事業者には、話は以前からしており、これまで最大限配慮している。定住促進住宅だけでは足りない可能性もあるので、両面で進めていく。

**Q** どの程度受け入れられるのか。

**A** 8戸のうち1戸は寮監が待機場所とし、残る7戸で最大21名の受け入れを想定している。

**Q** 定住促進住宅の他には検討された所はなかったのか。

**A** 市の遊休の土地での新築、あるいは、市の遊休の施設、または民間の遊休の施設の活用を検討したが、コスト面等の生徒負担の事を想定して、

多少、高校からは遠くなるが、施設の有効活用も鑑みて定住促進住宅を選択した。

**Q** 費用対効果として、全国枠で募集したことで効果が現れているのか市民の意見ではないかと思う。県へどのような要望をしたのか。

**A** 県は、この制度の生活環境に関する事例も、地元市町村が行うこととし、その姿勢を崩していない。他県の事例も、地元市町村が整備をしているケースも多いが、支援の要望は続けていく。また、効果面に関しては、関係人口を構築することにより、地元に移住、定住や就職を促していきたいと考えており、毎年、生徒や保護者が増えることで年少人口の確保ということと県立飯野高校の存続に大きく寄与し、生徒が普段行う消費も鑑みた時に、十分、寄与できるものと考えている。

**Q** 来年度に全国枠で入学する生徒の予想数は何人か。

**A** 男子生徒5人、女子生徒7人、最大12人程度を想定している。

**Q** 入所者からは家賃等を頂くのか。

**A** 自己負担を求めていく予定である。

**Q** 地域おこし協力隊事業費  
262万4千円

**Q** コーディネーターの募集、採用はえびの市がするのか、それと

も地域・教育魅力化プラットフォームと共同していくのか。

**A** 地域・教育魅力化プラットフォームでコーディネーターをやりたい人のマッチングをしてもらい、最終的に人材が決まって採用、運用するのは市になる。

**Q** 地域おこし協力隊でなく職員として雇用すればいいのではないのか。

**A** 交付税の措置があることを期待して、地域おこし協力隊の制度を活用する。

**Q** 令和4年度に、地域おこし協力隊は何名採用したか。

**A** 観光商工課が2名、市民協働課1名の計3名である。

**Q** 寮監という役割に限定した地域おこし協力隊を設定しているが、これまでの3名とは違う採用の仕方については。

**A** 高校と地域、行政等を繋ぐ役割を期待した。全国枠を推進している他の高校にも同様に地域おこし協力隊という立場で関わっている方もいる。そういった活用が全国的になされていることを参考にした。

**Q** 塵芥処理費  
23万1千円  
何か。

**A** 高齢者でゴミ出しが困難な世帯へのゴミ出し支援を本年2月から収集開始して、現在8件の家庭を回っている。市内全体ではなく、まず真幸地区から試行的に行っており、令和3年度実績は3,842kmで、令和4年度の見込みは7,849kmと2倍以上を見込んでいる。

### 【商工費】

足湯の駅えびの高原管理費

1,678万円

**Q** 補償金についてJAとの協定書の見直し等を検討する考えがあるか。

**A** 補償金の根拠は、足湯の駅えびの高原の物販事業に係る協定書の中に、県道1号線の復旧、開通するまでの影響も含めるといふ文言が記載されており、令和5年3月まではこの協定書の内容でJAと協議をしながら補償する。

### ②議案第64号 定住自立圏形成協定の一部変更について

#### 【担当課説明】

これまでの協定内容は、詳細に書かれていたため、対象となる事業が限定され過ぎていました。

今後、新型コロナや物価高騰など、予期せぬ事態に備え、柔軟に対応出来るように包括的な協定内容に変更したものです。

#### 【変更協定の総括について】

**Q** 何故、このタイミングで検討をしたのか。

**A** 国が示している定住自立圏構想推進要綱は、制定以来、毎年ではないが一部改正が行われている。今回の議案上程に関しては、第2次ビジョン計画期間5カ年間が経過したことから、協定内容の変更が望ましいと考えた。

**Q** 懇談会で協議を行った30人は広域の方で選定は公募なのか。

**A** 30人の有識者は、小林市、えびの市、高原町広域から参画し、公募に関しては、今年度はしていないと認識している。

#### 【政策分野毎の変更点】

**Q** 自殺対策の強化項目は残しておくべきだったと思うが。

**A** 自殺対策は西諸広域で連携を図り取組んでいるが、心の健康といたことで、住民の健康増進に係る取組みの推進の中に包括して実施している。

**Q** 地域包括ケアシステムの構築とは、具体的にはどういうことか。

**A** は、住み慣れた地域で、自分の暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に検討される内容である。

**Q** 子育て中の保護者から、小林市とえびの市とを比較され、意見を言われることがある。有識者や子育てをしている方の意見もビジョンの中に反映されていると思うが、見解を求めらる。

**A** 規模については子育て支援の団体の数等の差はあるが、保育園の保護者や子育て支援センターの利用者の意見を聞きながら進めていく。

**Q** 有害鳥獣被害防止対策は、今回の部分に入っているのか。

**A** 広域で捕獲等の連携を図っていることとし、重点化とスリム化の観点から、農林業の振興に包括した。

**Q** 商工観光業の振興は小林市が中心ではあるが、広域で取組む事業に関しては、しっかりと広域で取り組んで、小林市単独とならないよう、今後も注視してもらいたい。

**A** 小林市と連携して進めていくことは大前提である。小林市と取組んでいる事業もあり、小林市が中心とならないように意見を申しながら、さらに発展的な取組みを進めていく。

**Q** 広域観光の推進の稼ぐ力とは、どのようなことか。

**A** 観光客を誘客して、地域で消費してもらおうことで、そこに金が落ちて、観光産業の方に収益が生まれることにより、その地域が動くというような考え方だと認識している。

#### 【えびの駐屯地存続と交通安全・防災対策の充実についての市の説明】

えびの駐屯地の存続等についての活動の連携に関する定住自立圏の主旨は、安心安全に暮らせる圏域の実現と圏域全体の活性化であるが、その主旨と取組み内容に差異があるため今回削除した。なお、駐屯地の存続活動は以前から実施しており、今後も2市1町で継続していく。また、交通安全・防犯対策の充実については、交通安全大会などの啓発イベントを持ち回りで開催してきた。しかし、近年の高齢化社会での交通安全・防犯対策は、身近な市町ごとにも実施した方が望ましいという観点から、今回、取組み項目から削除した。

#### 【反対討論】

新たな協定書を見る限り、総括的過ぎて何の事業でもその中に入れられるようなことになっており、説明を加えないと解らないような協定書になっている。税金を使う以上、しっかりとした目的と具体的な事業の内容を示すべきだと思うし、用語自体が何を言いたいのがわからないものを多用している。このことから、従来の協定書で十分と判断する。

予算等審査特別委員会

委員長 中山 義彦



# 一般質問

**質問** 小林市の指定ごみ袋は、「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」などの4種類が共通の袋で、ごみの種類に応じてチェック欄にチェックして出す仕組みである。1種類のごみ袋を用意すれば、ごみを出せるので、当市のように5種類の袋を用意しなくて済むそうだ。小林市ではごみ袋の大きさが4種類用意されている。袋の1枚当たりの値段は、小林市の特大が18円20銭、小は5円80銭、当市の袋の値段は大が20円50銭、小が15円7銭で、小林市の方が全体的に安くなっている。高原町でもごみ袋を共用し、大きさは4種類用意されている。小林市や高原町のように、ごみ袋を共用し、5種類の袋を買う手間をなくすこと、大き



阿部 哲己  
議員

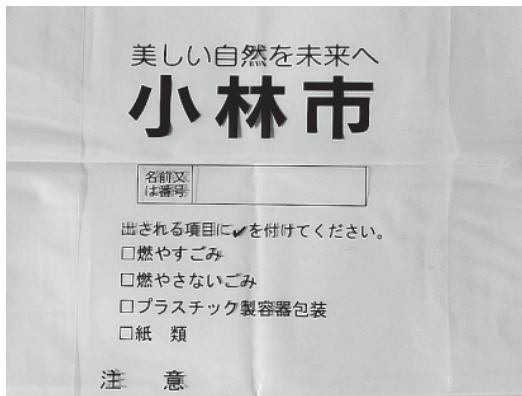


ごみ袋を共用し値段を安く！

この種類を増やすことで、ごみが少ない時は小さな袋を利用できるなど、市民の利便性を高め経費節減を図ることを提案する。

**市民環境課長** 収集時に小さなチェックを確認する必要があり、作業効率の低下が懸念される。

**質問** 西諸共通のごみ指定袋にすれば、料金は更に下がるのでは。  
**市長** ごみ袋料金が下がることは市民にメリットがある。



小林市のごみ袋のチェック欄



松窪 ミツエ  
議員



変化に強い自治体づくりを！

**質問** 「地域商社」の説明と今後の取り組みについて伺う。

**企画課長** 地方に仕事を作り、時代にあつた新しい人の流れを作るために付加価値を生み出し、地域の稼ぐ力を創出するもので地域全体の利益の最大化を使命とするプロジェクト会議は庁内独自で行っている。設立は来年10月頃には、目途がつけられればと期待をしている。

**質問** 稼ぐ政策目標の着地点や設立に当たつての将来への展望は。  
**市長** 大きな観点ではスタートになる。行政と民間の連携する新たな組織が必要。時代にあつた動きができる稼ぐ力を、この組織をもつてしっかり作っていききたい。

**質問** 住民の健康寿命延伸のため

の具体的な対策の取り組みは。  
**健康保険課長** 健康で幸せなまちづくりに向けたスマートウェルネスシティ計画に着手するため市民の意識調査中。課題を抽出して対策を講じていく考えである。

**質問** Jアラートが発令された時の住民避難の検討は。  
**基地・防災対策課長** 理解を深めるための周知の方法について検討の必要があるかと考えている。



第6次えびの市総合計画

Well-beingなまなぐら



遠目塚 文美  
議員



**質問** 熊本市の慈恵病院視察で、改めて命の授業の重要性を感じた。市内小中学校での実施状況は。

**教育長** 中学校では県助産師会・産婦人科医・県立看護大学の協力を経て、性教育だけでなく人権の観点を含め、SOSの出し方やピアサポート教育等を推進している。

**質問** 子ども達が市内の自然と触れ合う機会創出に助成事業を。触れ合う機会創出に助成事業を。

**市長** 今の子どもは自然と触れ合う機会の減少を感じる。教育委員会から要望があれば検討する。

**質問** 財源確保の一つとして、企業版ふるさと納税を推進しては。企業版ふるさと納税を推進しては。業より1件。今後とも推進していく。

**質問** 宮崎カーフェリーの新船

は、物流業に配慮されている。えびの市は立地的に将来を見据えた物流環境を勘案し、宮崎カーフェリーと連携した企業誘致で新たな視点での物流拠点となれるのでは。

**企業立地課長** 災害時のBCP対応や陸運トラックの効率的な運用に向けて、メーカーもルートの開拓をしている。南九州の核拠点として活用出来るように、市長も宮崎カーフェリー社長と連携についての意見交換を行っている。

※1赤ちゃんポスト「ここのりのゆりかご」を運営



大きな役割を担う相談窓口

生きがいを持てる環境づくりを



小宮 寧子  
議員



**質問** 積極的勧奨が再開された子宮頸がんワクチンの接種状況は。

**子ども課長** 令和4年10月末現在、小学6年生〜高校1年生が対象の定期接種は2・8%で、定期接種の機会を逃した高校2年生〜25歳が対象のキャッチアップ接種は7・9%である。

**質問** 本市の障がい者の雇用状況と雇用促進に向けての対応は。

**総務課長** 障がいのある市職員は6人で雇用率1・59%である。マッチング登録への周知に努める。

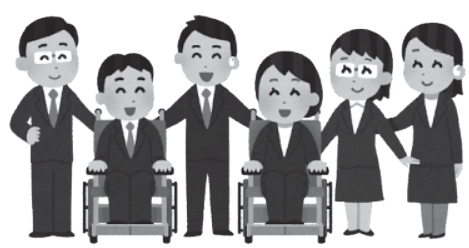
**観光商工課長** 令和4年の企業実態調査では、障がい者を雇用している企業は12社で44人の雇用がある。今後とも企業へ理解を深めてもらうため、広報等により周知啓発に努めていく。

**質問** ひきこもりが社会問題となっているが本市の見解は。

**市長** 多種多様な現状がありデリケートな問題。しっかり時間をかけ寄り添っていく必要がある。

**質問** 直接相談に来ることができない方へのひきこもり支援は。

**福祉課長** 訪問によるアウトリーチ型の支援を考えている。重層的支援体制整備事業の中で、包括的な支援体制の構築に努めていく。





# 一般質問

## 現代の名工と雨漏り



森 賢治  
議員

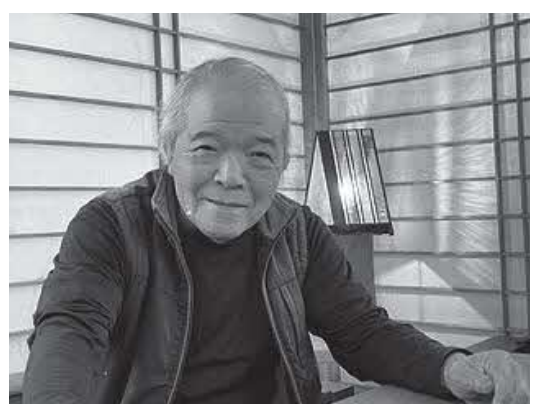


**質問** まず、以前の定例会、委員会にて消滅可能性都市の説明に誤りがあり、お詫びと訂正をし、ブランド認証事業に関し、第三者が確認できない発言があり、取り消して関係者に謝罪する。次に、宮崎日日新聞11月22日付に「現代の名工」を受賞した川野幸三氏の工房（旧上江小霧島分校）が紹介された。同氏をご存知か。

**市長** 現代の名工とは、厚生労働大臣が表彰し市民表彰より上位の賞である。市が推薦し初の受賞者が出た。川野氏とは他の市町村から移住された際に面識がある。

**質問** 国は川野氏に対し表彰状、盾、徽章、報奨金を贈るといふ。市も褒賞等の計画があるのか。

**市長** 予定はない。



現代の名工 川野幸三氏（於工房）

**質問** 同分校は市の財産だが雨漏りの現状を把握しているか。

**市長** 知っている。

**質問** 現代の名工の受賞を契機に雨漏りの修繕をしたらいかがか。

**市長** 元々処分の予定であった。転居が予想される。移住定住の推進のためにも世界的に稀有な人物の職場環境を改善しては。

**質問** 雨漏りが原因で川野氏の職場環境を改善しては。

**市長** 賃貸借契約にて借主が修繕を行うことになっている。

## 避難所を兼ねる室内多目的広場を!!



川野 亮  
議員



**質問** 真幸地区の方で台風14号に伴う避難所利用者の人数を伺う。

**基地・防災対策課長** 避難者総数239名。内、真幸地区に住まわれている方は65名である。

**質問** 中浦、南岡松地区へ避難された方の人数を伺う。

**基地・防災対策課長** 中浦自治公民館へ2名。南岡松公民館へ5名。

**質問** 利用された方で自治会以外の方がいらっしゃったか。

**基地・防災対策課長** 中浦自治公民館へ2名。南岡松公民館へ2名が地区外からの避難者である。

**質問** 避難したいが移動手段がない等で、避難したくてもできない方の為に送迎支援の検討ができないか伺う。

**基地・防災対策課長** 現在、送迎支援は検討していない。今後は、自主防災組織と地域福祉推進会議との連携を図りたいと考えている。

**質問** 真幸地区に避難所が必要と考えている。安心して利用できる室内多目的広場の検討は。

**市長** その様な要望があることは承知している。避難所としての名目での設置は難しい。避難しやすい環境づくりは進めていきたい。



避難所を兼ねる西都市の屋内練習場



飯野駅を中核に整備開発を



吉留 優二  
議員



**質問** 飯野駅周辺整備が非常に悪い。飯野高校生をはじめ、えびの市で一番利用客の多い駅としてはお粗末な風景であり、立木・竹・雑草等伐開除根し重機等で整備舗装工事を施し市民の憩いの場として整備するべきと考えるが。

**市長** 多くの人たちが利用している駅で、ある程度の整備はしている。伐根など必要な整備があれば引き続き指示していく。

**質問** 飯野駅南側の水路整備がなされてなく生活用水がそのまま排出され不衛生であり、駅周辺整備とともに水路排水整備を緊急にする必要があると考えるが。

**市長** 水路については建設課長に指示している。

**質問** 東部の都市計画開発が明



えびの飯野駅

らかに遅れており、上江地区も然り、飯野町区も含め飯野駅を中核に周辺整備する必要がある、人口・土地利用法、主要施設を想定し、必要な規制、誘導、整備を適正に発展させようとする都市計画事業が必要だが市長の見解を伺う。

**市長** 地域の活性化については色々な方法があるかと思うので、周辺の皆さんと協議しながら整備していきたいと思っている。



田口 正英  
議員



**質問** 「スマート畜産」について、市長はどのように考えるか。

**市長** 農業全般に関わることで、担い手不足や、高齢化が進んでいるなかでの労働力軽減を含め、今後、農業振興を進めるなかでは、AIやIoTの活用が重要となってくる。

**質問** 本市の現状はどのようになっているか。

**畜産農政課長** スマート畜産においては、AIやIoTを活用した家畜の健康状態や行動を把握し、生産性の向上と労働負担の軽減などを目的に、ここ数年進んでいる。本市においては、分婉監視カメラやスマートフォンでの繁殖管理システムを中心に利用が進んでいる。畜産経営においても高齢化や労働

AI等の活用で畜産の所得アップを!!

力不足を補完するためにスマート畜産の普及推進を図り、労働負荷や事故率の低減、生産性の向上に努めていく。

**質問** 産業団地への企業進出の見通しについて。

**市長** 今期一番の優先課題としている。中身について市民には公表できないが、色々な企業から問い合わせはきている。残り2/3もしつかり責任もって埋めていく。



ICT活用で儲かる畜産経営を!!

# 一般質問

## トンネルからの水は安心安全



栗下 政雄  
議員



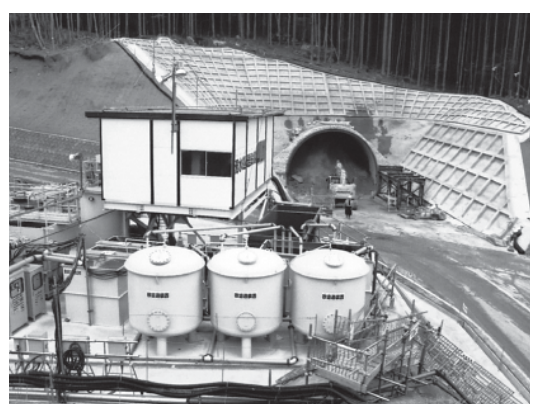
**質問** 国道447号線、(仮)真幸トンネル排水処理は下流域で安心して利用できるのか。

**市長** トンネルからの取水を浄化槽で処理して、下流域に放流する。

**質問** 浄化槽から排水された川の水を利用してはいる受益面積は、いくらあるのか。

**農林整備課長** 慣行水利届による白川水系の水田面積で、内訳として西内堅地区が5地区で合計12・8ヘクタール、北岡松地区が2地区で14・78ヘクタール、中内堅地区が3地区で合計34・9ヘクタール、南岡松地区が28ヘクタールで総受益面積は90・48ヘクタールである。

**質問** 県道石阿弥陀五日市線、



(仮)真幸トンネル工事現場の浄化槽

上大河平地区の用地問題はどのように進んでいるのか伺う。

**建設課長** 今後は小林・えびの間道路改良促進期成同盟会において、県道石阿弥陀五日市線(上大河平工区)として道路改良事業の新規着手を要望していく。

## 農業指導に技術指導員の招聘を!



中山 義彦  
議員



**質問** 産業団地の企業誘致で、今の時点で発表できる企業は。

**市長** 現在協定を結んでいる2社以外、報告できるものはない。

**質問** 今の任期中に団地は売切ることには変わりはないか。

**市長** 最重要課題として全力を尽くしていく。

**質問** 農業が活性化するために、県の技術指導員を招聘して、市や農協と連携し農家を指導せよ。

**市長** 現在は普及センターの指導員等と連携しているが、更なる活用について検討する。

**質問** 30人学級は、開始した時より令和4年度には200人ぐらい減っている。将来、30人学級をどのようにすべきと思うか。

**教育長** 令和10年度で938名

を見込んでいるが、学力向上等で成果が上がっており継続していきたい。ただ講師は半分程度の予定。

**質問** 飯野の町区周辺に公園の要望がある。警察署跡地の活用を。

**市長** 検討した結果、跡地は市民要望で現在の形にしている。

**質問** 盗伐・誤伐対策として植栽造林に限る伐採届にできないか。

**農林整備課長** 法的根拠がないため再造林普及活動を行っている。



田園風景

# ◎ 各常任委員会閉会中審査報告 ◎

## 総務教育常任委員会

### 管内調査報告

■日時・場所

令和4年11月14日（月）  
第1委員会室

■目的

えびの市庁舎の管理状況について

■調査内容

市庁舎の建設の経緯やこれまでに行った大規模工事等の詳細、今後の建替等の計画や考え方、課題について

《耐震工事》

平成13年に耐震診断を実施し、検討の結果、平成19年に耐震改修工事施工

《エレベーター設置》

令和2年度に設置事業実施

《雨漏り改修》

平成30年度より工事計画を策定し、令和4年度までに年次的に改修

《新庁舎建替等について》

現在の庁舎は、耐震改修工事をはじめとする修繕・改修工事等を実施するとともに、屋外エレベーターの新築、空調設備の改修等、設備の充実を図りながら使用していくことを想定している。しかし、今後は更に老朽化が進むことから、いずれは新庁舎建設の検討を行う時期が到来する。新庁舎建設に關しての考えは、今はまだ具体的な協議は行われていない。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

## 議会傍聴しませんか

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告を受けます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴

申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。

新型コロナウイルス感染症対策のため、検温・手指の消毒・マスク着用にご協力お願いいたします。





# ◎ 各常任委員会閉会中審査報告 ◎

## 産業厚生常任委員会

## 管 外 調 査 報 告

### ■日時・場所

・令和4年11月7日(月)  
佐賀県嬉野市

道の駅うれしのまろく  
・令和4年11月8日(火)

長崎県雲仙市

田代原野営場

トレイルセンター

雲仙B A S E

### ■目的

・道の駅周辺の観光施策について  
・国立公園内にある、施設

の運営について

### ■視察内容

#### 【嬉野市視察】

今年9月に約百年ぶりの鉄道駅として新幹線が開通した人口約2万5千人、「嬉野温泉」、「うれしの茶」「肥前吉田焼」が有名な嬉野市で、道の駅周辺のまちづくりについて視察しました。駅周辺整備事業を平成21年7月より開始し、今年悲願の新幹線が開通。駅周辺には、道の駅うれしのまろく、国立病院も新築移転、宿泊ホテルも建設中と駅周辺が開発されていました。道の駅うれしのまろくには少

数の地元産品のみが陳列されており、買い物をする道の駅で完結させるのではなく、気になる商品を地元商店に足を運んで買っていただき街の活性化につなげたいとの戦略で新たな道の駅の在り方ではないかと感じました。嬉野温泉観光誘致については、コロナ禍よりさらに減少してきているが、交流人口2百万人(現在交流人口百万人)を目標に、個人旅行へシフトチェンジしている旅行観光客のリピーターの取込みと、高付加価値な商品サービスを提供し、急速に変化する時代に対応したいとのことでした。



嬉野温泉駅

#### 【雲仙市視察】

人口約4万2千人、普賢岳、雲仙地獄など雄大な自然環境を有し、日本最初の国立公園である雲仙天草国立公園が有名な長崎県雲仙市を視察。まず、田代原高原にある田代原野営場と併設するトレイルセンターを視察。えびの高原、

長による料理道場、大人数受け入れ可能なワーケーションとして利用しているそうです。今回、2日間視察研修で学んだことを参考に、今後のえびの市の観光発展につなげられるようにしていきたいと思っています。

#### 産業厚生常任委員会

委員 川野 亮

矢岳高原にも似た自然環境の国立公園で、平成18年度から県が雲仙市へ指定管理を委託し、雲仙市が雲仙シルバー人材センターへ業務委託を行い、整備及び管理を行っていきます。年間利用者数は、約2千人で、キャンプ利用料金は子どもも百円、大人三百円と低料金で設定されているため、リピーターが多いとのことでした。雲仙B A S Eは、旧雲仙小・中学校跡地を活用し、地域の課題解決、移住定住促進、地域活性化を目的とし、ヒト・モノ・コトをつなぐ交流コミュニティ拠点として令和3年10月にオープン。現在、9社の事業者が3カ年の実証実験として、ファミリーコンサートやゼミ合宿、有名料理



トレイルセンター



雲仙BASE

## 令和4年10月臨時会 議案等審議結果表

### 1. 議案等

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下	
	議案第58号	令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第6号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

## 令和4年12月定例会 議案等審議結果表

### 1. 議案等

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下	
	報告第11号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	※質疑後、終結													
	報告第12号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	※質疑後、終結													
	議案第59号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

## 令和4年12月定例会 議案等審議結果表

### 1. 議案等

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
産業厚生	議案第60号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
産業厚生	議案第61号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
産業厚生	議案第62号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
産業厚生	議案第63号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
予算等審査特別委員会	議案第64号	定住自立圏形成協定の一部変更について	原案可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●
総務教育	議案第65号	えびの市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第66号	えびの市職員の定年等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第67号	えびの市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第68号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第69号	えびの市一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算等審査特別委員会	議案第70号	令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
産業厚生	議案第71号	令和4年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第72号	令和4年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第73号	令和4年度えびの市水道事業会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第74号	令和4年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第75号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第76号	えびの市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及びえびの市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第77号	えびの市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第78号	令和4年度えびの市一般会計予算の補正(第8号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第79号	令和4年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第80号	令和4年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第81号	令和4年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第82号	令和4年度えびの市水道事業会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第83号	令和4年度えびの市病院事業会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 2. 請願・陳情

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
産業厚生	陳情第4号	市の観光地として毘沙門の滝の復興を求める陳情書	継続審査												

／：議長は採択に加わらない    ○：賛成    ●：反対    -：棄権    欠：欠席

議会広報特別委員会  
委員 遠目塚 文美

明けましておめでとうございます。2023年、新たな年をいかがお迎えになられたでしょうか。今年の干支は「卯(うさぎ)」です。この卯年には、うさぎが跳躍する姿から「飛躍・向上」という意味があり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。(※諸説あります。)また、うさぎの長い耳はアンテナのように音を集める働きがあります。えびの市を取り巻く環境は、社会情勢にも大きく左右されます。将来を見据えながら、どのようなまちを目指し、取り組みを進めるのか、アンテナを高くし、市民の皆様のご意見を伺いながら、日々見識を深める努力が必要です。更に、うさぎは子たくさんなことから子孫繁栄のご利益があるとも言われています。子どもは地域の宝です。子どもを産み育てやすいまちとなり、牽いては老若男女全ての市民の皆様にとって住み良いえびの市となるよう、議員として議会として、真摯に努めてまいります。新たな年も引き続き宜しくお願い致します。

